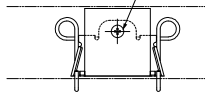


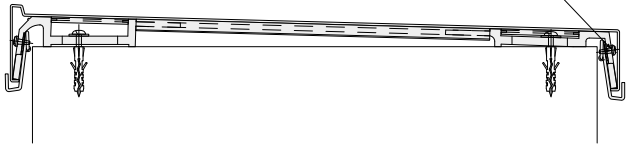
## タイトアタッチメントAT① | 施工手順

AT-50G  
MAG用

SUSサンロックネジ M5×10



SUSサンロックネジ M5×10



### 標準仕様とオプションについて

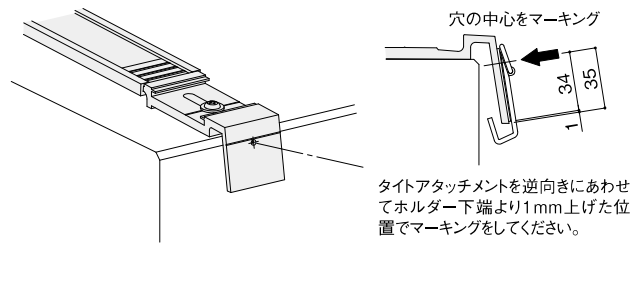
品番	標準仕様にて対応	オプション仕様にて対応
AT-50G	<p>キャッピング幅500mmを超えるMAGタイプ (MAG501～)</p> <p>※キャッピング1本にAT部材2ヶを梱包に同梱、現場取り付けとなります。</p>	<p>キャッピング幅500mmまでのMAGタイプ (~MAG500)</p> <p>※必要数により別売り(20ヶ入)にて現場取り付けとなります。</p>

※標準仕様は材料出荷時に部材同梱されます。

※オプション仕様はお客様のご要望により別売在庫品にて対応いたします。

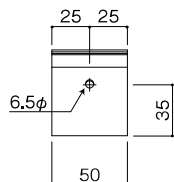
### タイトアタッチメントATの取り付け方法

1



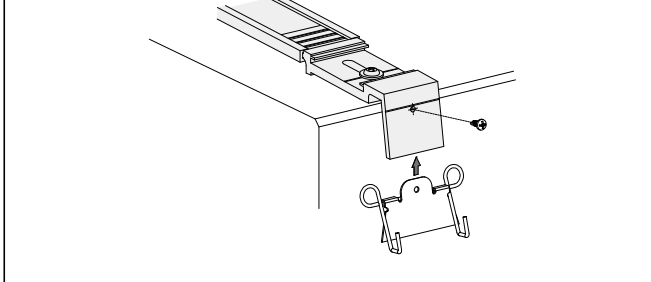
ホルダーにアタッチメント取り付け用の下穴をあけます。下穴サイズ、穴あけ位置は下記寸法にらって正確に開けてください。

#### AT-50Gの下穴位置

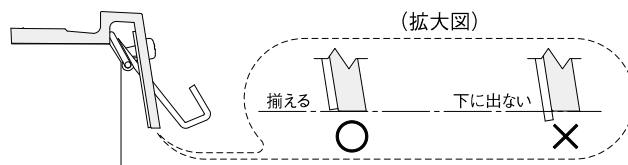


※下穴位置がずれると安全機能が作動しないのでご注意ください。

2

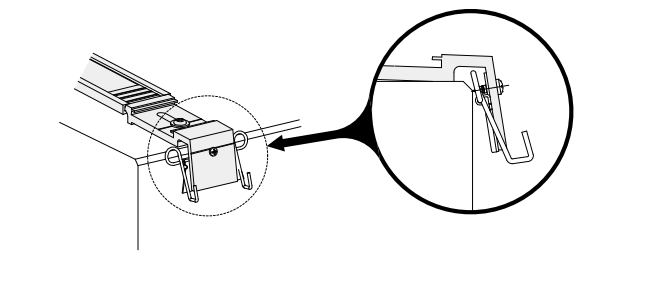


下穴にあわせてタイトアタッチメントをホルダーの裏側にセットし専用ネジ(サンロックネジ)で固定します。



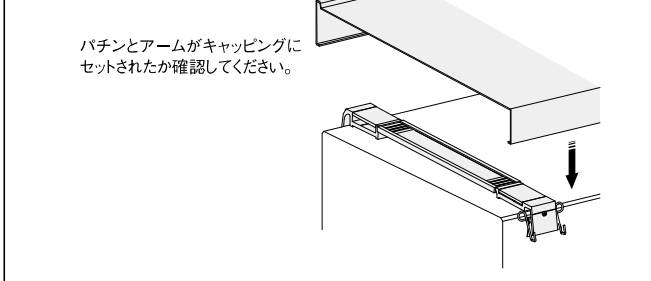
※ホルダー見付面下端よりアタッチメントが下がらないように。

3



アームがセット位置にあるか確認してください。

4

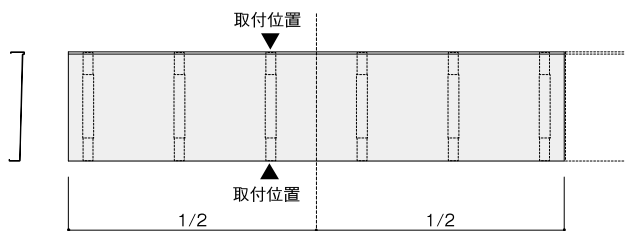


キャッピングを前・後同時に嵌ませます。

## タイトアタッチメントAT② | 施工手順

### タイトアタッチメントの標準取り付け位置について

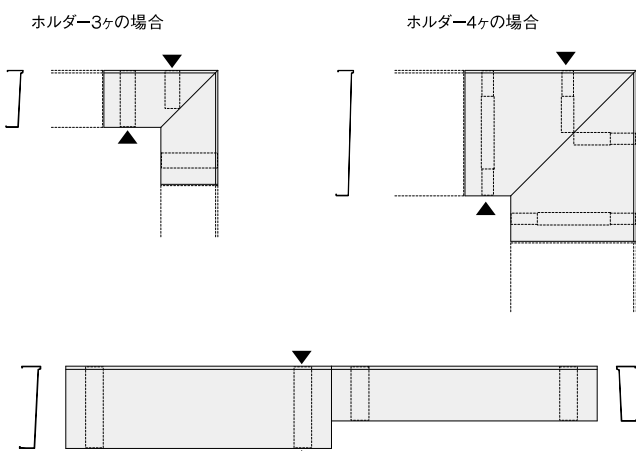
#### ■直線部のアタッチメント取り付け



中央部に近いホルダーに取り付けてください。  
 ※物理的に前見付側(外見付側)に取り付け出来ないとき  
 (デザイン笠木など)・オプションで水切りタイプ(RD C、WA、WAG)に  
 取り付ける場合は後見付側両サイドに取り付けてください。

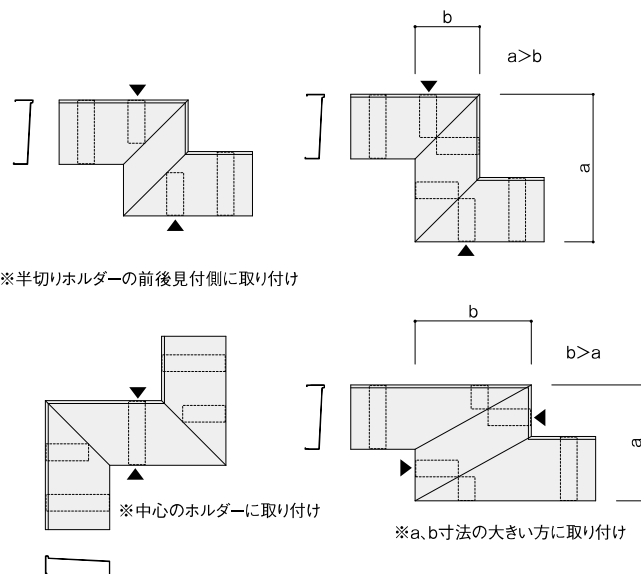
#### ■役物部のアタッチメント取り付け

##### ●笠木の標準役物



※長さ違い、幅違いの場合は、長さ、幅が大きい方に取り付けてください。

##### ●笠木のクランク役物



※半切りホルダーの前後見付側に取り付け

※中心のホルダーに取り付け

※a、b寸法の大きい方に取り付け

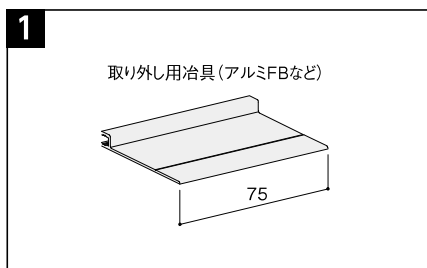
#### ■標準取り付け位置の考え方

キャッピングに対する取り付けのルール

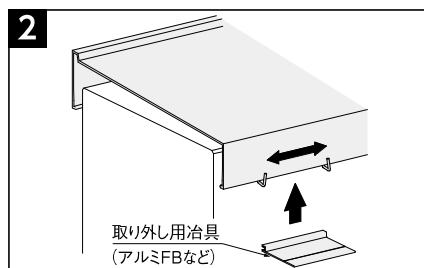
- ①キャッピング1本に対し、2ヶのアタッチメントを取り付けてください。
- ②アタッチメントは中央部のホルダー(割付上中心に近いホルダー)に取り付けてください。
- ③コーナーや役物などはサイズの大きい側、L寸の長い側に取り付けてください。
- ④アタッチメントは必ず対方向に入れてください。

### 現場での取り外し手順

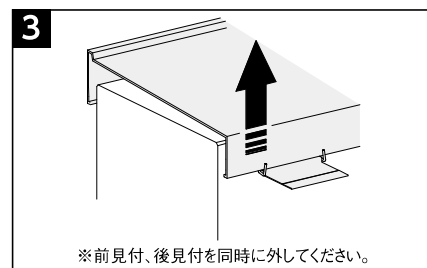
アタッチメントセット後に取り外しの必要がある場合は下記の手順にて取り外します。



アームを広げるための  
 治具を用意してください。



治具をアームの間に挟み  
 広げた状態にします。



※前見付、後見付を同時に外してください。

通常の取り外しと同じ様に  
 キャッピングとホルダーの嵌合を外します。  
 ※施工時の目地調整、取り外しなどでキャッピングと  
 アームがすれて傷がつくおそれのある場合は、アル  
 ミ薄板や養生テープなどの緩衝材をはさんでく  
 ださい。